

## 過疎地域での新たな豊かな暮らし 養父市旧グンゼ養父工場跡地地域活性化ワークショップ



兵庫県の北部にある養父市では、地方の大きな課題である過疎化や少子高齢化による人口減少に歯止めがかかっておらず、若年層の移住・定住を促す取組がなされています。

一方で、養蚕と製糸が盛んであったことから、市内の各地に養蚕農家の集落景観、製糸場などが地域の資源、産業遺産として現存しています。また、養父市内にはグンゼの八鹿工場と養父工場がありましたが、いずれも廃止され、八鹿工場跡地はやぶ市民交流広場 Y B ファブとして生まれ変わりました。

今回は、養父市内のまちを歩き、地域の歴史・文化に触れるとともに、旧グンゼ養父工場跡地を活用し、過疎地域における豊かな生活、多様な暮らし方、働き方の実現による地域の活性化方策を考える、学生対象ワークショップを開催します。

**DAY 1 7月23日（日）** 9時30分～20時

▶現地にて、班分け、まちあるき、ディスカッション

**DAY 2 8月27日（日）** 14時～17時

▶兵庫県民会館にて、発表、質疑応答、審査・講評

日本都市計画学会関西支部では、将来のまちづくりや都市計画を担う人材育成に貢献するため、学生のみなさんを対象とした各種の活動を行っています。まちづくりに関心のある学生の方なら、どなたでも参加いただけます。奮ってご参加ください。

### 参加要件

対象：DAY 1・2の両日参加可能な大学(院)生、高専生

参加費：無料（交通費(※1)・通信費等は全て自己負担)

※1 DAY 1の大阪駅-養父市までは貸切バスにて移動するため、交通費の自己負担はありません。

定員：30名（先着順）

申込単位：個人（個人参加者同士でグループを組成します）

### 申し込み方法

<https://kansaikikaku20230722.peatix.com/view>

①氏名

②所属・学年（大学名・学部・学科・担当教員）

③年齢（まちあるきの際の保険加入に必要）

④連絡先（電話・メールアドレス）

を入力の上、7月14日（金）までに申し込んで下さい。

問合せ先：日本都市計画学会関西支部企画委員会  
([cmt\\_plan@cpj-kansai.org](mailto:cmt_plan@cpj-kansai.org))